



PwCサステナビリティ合同会社
代表執行役
丸山 琢永

読者の皆さま

Sustainability Yearbook 日本語版をお手に取ってくださり、誠にありがとうございます。PwC Japan グループが2015年に初めて日本語版の制作に協力するようになり、本書で5年目となります。

その間、世界では持続可能な開発目標（SDGs）の合意やパリ協定の締結などがあり、地球規模の重大な課題の解決について方向性が示されました。

国内では、企業との積極的な対話を通じて企業の持続的な成長を促すという機関投資家の責任について定めた日本版スチュワードシップコード、そして企業が株主やその他のステークホルダーに対して果たすべき責任について定めたコーポレートガバナンスコードがそれぞれ策定されました。

いずれのコードも改訂を経て、コーポレートサステナビリティについては、「投資先企業の事業

における社会・環境問題に関するリスク・収益機会を把握する」という投資家責任、そして「サステナビリティを巡る課題についても適切な対応を行う」といった企業責任についての認識が定着しつつあります。

さらに、企業と投資家に係る国内の動きとしては、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が2015年に国連の責任投資原則（PRI、Principles for Responsible Investment）に署名し、2017年にESG指数に連動したパッシブ運用を開始しました。これが、国内におけるESG投資・サステナブル投資を急拡大させる契機となったのはご存知のとおりです。

日本取引所グループ（JPX）もまた、2017年に持続可能な証券取引所（SSE、Sustainable Stock Exchanges）イニシアティブのパートナー取引所となり、世界に向けて持続可能な社会の実現に向けたコミットメントを表明しました。

**ESG・サステナブル投資を後押しする
機運が国内でも高まりつつあります。**

日本においてサステナビリティ／ESG投資といった言葉をこれほど頻繁に耳にするようになったのは最近のことですが、SAM¹の企業評価（CSA、Corporate Sustainability Assessment）および本書には、20年以上前からコーポレートサステナビリティに着目した投資に取り組んでいるSAMの知見が集約されています。

CSAに参加する日本企業のうち90%近くが「CSAで問われる内容を自社の取り組みや情報開示の参考にしている」と回答しています²。さらに、英国のSustainAbility社が今年、6年ぶりに発表した“Rate the Raters³”のランキングにおいて、SAMは、有用性および品質のいずれにおいてもトップに選ばれました。SAMには、この場を借りてお祝いを申し上げます。

なお、日本を含むアジア11カ国・地域におけるCSAの結果については、SAMからこの春、“Asia Status Report 2018⁴”が発行されました。そこには、アジア企業のコーポレートパフォーマンスの水準がヨーロッパの企業に次いで高いことが紹介されています。その一方で、アジアの企業はコーポレートガバナンスや人権の領域⁵で課題が多く、また、全体的に透明性が低いということも指摘されています。もちろん日本企業も決して例外ではありません。

投資家を中心に、企業のサステナビリティのアプローチや取り組みに対する関心は確実に高まっています。CSAに参加している企業の方も参加していない企業の方も、本書が皆さまのコーポレートサステナビリティ強化の取り組みのご参考になりますことを願っております。

本書が皆さまのコーポレートサステナビリティ強化の取り組みのご参考になりますことを願っております。

¹ RobecoSAM AG（スイスの資産運用会社）の登録商標

² PwC Japan 調べ（調査期間は2016年10月（n=76）、2017年10月（n=96）、2018年10月（n=98））。SAMとPwC Japan共催のセミナー参加者の皆様にご協力いただいた（CSAに参加する目的として「株主・投資家との対話に活用するため」と回答する企業の割合が2017年以降、大きく伸びている）

³ <https://sustainability.com/our-work/reports/rate-raters-2019/>

⁴ <https://www.robecosam.com/csa/insights/2019/asia-report-2018.html>

⁵ 人権を尊重・保護するためのコミットメント、潜在的な人権リスクを把握するためのデューデリジェンス、人権リスクを特定して管理するためのアセスメント、対外的な情報開示

この記事は、PwC Japanグループが執筆しました。